

第17回「蕨の会」松代・真田ツアー 幹事からひとこと

「蕨の会」会長 成澤文和（4組）

2012年11月、同期有志による歴史探訪の集まり「蕨の会」が発足して12年、その間、訪れた場所は埼玉県を中心に16か所を数えます。

当会で真田氏ゆかりの地を訪ねようと、真田氏関連史跡巡りを始めたのは2017年のことでした。第1回目は17年5月、関西に足を延ばし一泊二日、8名の参加者が大阪城、「真田丸」跡、高野山、九度山ほかを在阪同期の山岸敏夫君（11組）のガイドで8名が歩きました。

第2回目は18年4月、群馬県の沼田城址公園ほかを11名で散策しました。幹事は高崎在住の中山正光君（11組）が務めてくれました。

第3回目は19年4月、仙台真田氏巡りで白石城、仙台城跡ほかの一泊二日ツアーに15名が集まりました。幹事は仙台に縁のある宮原豊君（9組）と浅倉英樹君（4組）でした。



そして、長いコロナ禍による中断をはさみ、最終回の第4回目として、24年4月10、11日、松代・上田（真田）散策で真田氏史跡巡りの集大成となりました。幹事としての準備は大変でしたが、参加者の協力と地元からの特別参加もあり、天候にも恵まれ無事に終了出来て安堵しています。これからも健康で参加したいものです。

24年4月11日、真田、長谷寺にて、中央が筆者

(2024年4月14日記)

以上